



3/10 (水) 将来の夢へのきっかけづくり

牧港小学校6年生の児童らがキャリア教育の学習を通して得た収益(約2万円)を浦添市のために役立てたいと市社会福祉協議会に寄贈することが決まり、その報告のため教育長を訪問しました。この収益は、同校の授業の一環として、学園通りの飲食店事業者の協力のもとで菓子や日本そば、巻き寿司など調理の指導を受け、それを商品化して企画・販売することにより得たものです。

児童からは「友達と協力し合うこと、夢に向かって頑張ることの大切さを学んだ」「仕事をする両親の大変さに気づくことができた」と、この授業の感想がありました。



2/15 (月) 市民が安心して子育てできるようにサポートします!

第43回沖縄県母子保健大会において、市母子保健推進委員連絡会が県知事表彰を、町田節子さん(個人の部)が大会長表彰を受け、その報告のため市長を訪問しました。

棚原会長は「本会は9月で20周年を迎える。この機会に表彰を受けられたことがうれしい」と、受賞の喜びを語り、町田さんは母子保健の仕事について「地域子ども達と赤ちゃんの時からかわり、ケアしていくことが地域の力になる」と、話しました。市長は「母子保健の推進に関し、表彰を受ける確かな力が発揮できた。これからも頑張ってください」と、激励しました。



3/13 (土) フィーザー 樋川をみんなで大事にしていこう!

まちづくり交付金を活用した仲間地区の景観形成の一環として、市指定文化財の仲間樋川と隣接する仲間小広場の整備が完了しました。仲間樋川は市内で最も大きな井泉の一つで、戦後に水道が整備されるまで日常の飲用水、生活用水などに利用されていました。今回の修復では昭和10年に行われた改修工事後の姿を再現しています。また、仲間小広場は地域からの要望により、地面に砂が敷かれ、これまでの公園とはひと味違った昔ながらの遊び場として整備されました。

仲間自治会主催のお披露目会では、多くの地域住民が訪れ、樋川の歴史解説やグッピーの放流、広場への記念植樹が行われました。



2/15 (月) バトラー消防本部と相互援助体制を確立!

消防相互援助協約は、市消防本部と在日海兵隊基地バトラー消防本部とが管轄区域隣接地域における消火活動について、双方が適切に対応することを目的に締結したものです。しかし近年は、救急活動の要請が多く、消防行政を取巻く社会環境の変化に対応するため、協約内容を見直し、新たに締結しました。これにより、消火援助に加え、救急及び救助も相互に援助活動ができるようになります。

バトラー消防本部のスコット水上消防長は「知識、技術を共有しながら支援し、総合訓練なども行っていきたい」と、あいさつしました。



2/26 (金) 浦添ブランドの確立とその流通を目指して!

「うらそえ織」の販路拡大を図るマーケティング事業の一環として、グランドホームポート・ヒロックで展示会が開催されました。展示会では、本市で生産された繭を使用したメンズウェアやレディースウェア、バッグ、小物などのほか、伝統衣装であるどう衣(ドウジン)の展示がありました。

展示会のオープニングセレモニーで「うらそえ織結の会」の稲福会長は「市役所や商工会議所での展示販売会や、物産展、農協まつりへ参加し、うらそえ織のPR活動を行っている。市民の皆様にも認知してもらい、自慢していただける製品を作っていきたい」と、あいさつしました。



2/24 (水) 浦添市民憲章実践活動 作文コンクール表彰式

今年も市民憲章の普及実践と児童・生徒の公德心の高揚を目的に行われ、211作品の応募がありました。

最優秀賞

西原菜理子(浦城小6年) 當山 敦己(当山小6年)
喜屋武明莉(前田小6年) 平良 珠乃(当山小6年)
棚原 理貴(当山小6年)

優秀賞

宗前 葵衣(当山小6年) 喜屋武綾乃(内間小5年)
金城 汰世(当山小6年) 仲間 杏(浦城小6年)
親富祖頭吾(浦城小6年) 池原 保明(浦城小6年)
比嘉 健太(前田小6年)



2/15 (月) まちづくり活動を通して4年連続の表彰!

個人・団体等に対し、多年にわたる社会教育振興の功績をたたえる沖縄県社会教育功労表彰において、市内のNPO法人「まちづくりてだこ市民会議」が団体の部で表彰され、報告のため市長を訪問しました。

この団体は、牧港川に清流を取り戻す活動などを行って、4年連続の表彰となります。理事長の運天さんは「歴史に根ざしたまちづくりを行っています。この活動はゆっくり気長にできたらいいなと思っていただけに、表彰を受けるとは全く寝耳に水でした。これからも、まちづくりの活動にまい進してまいります」と、喜びを語りました。